



見崎中学校図書館



9月になり、図書館利用が再開されました。新型コロナウイルス感染症予防対策のために、クラスごとに利用日を設定しています。9/13以降は、決まり次第お知らせします。

※夏休みの本はそのときに返却してください。

※一週間に一度の利用になりますので、5冊まで貸出できます。



おねがい

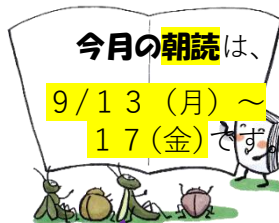
- ① 各クラスの該当する日に利用
- ② マスク着用
- ③ 入り口で手を消毒
- ④ 密接にならないように距離をおく

月曜：3 - 1
 火曜：1 - 1
 水曜：1 - 2
 木曜：2 - 2
 金曜：2 - 1



ゼロ
今年度の不明本は0冊です!!

夏休み中に、所蔵している本を一冊ずつ点検していく蔵書点検を行いました。今年度の不明本はなんと！0冊というすばらしい結果でした。これは見崎中のみなさんが日頃から本を大切に扱っている証拠です。ご協力ありがとうございます。



本の準備をお忘れなく。

1冊の本との出会いは、大きな可能性を秘めている

本について、シンガーソングライターのあいみよんが語ったインタビュー記事とあわせて見崎中職員の読書好きな内田校長先生と東先生と司書内藤の回答を紹介します。

Q：本を読んでプラスになったことは？



あいみよん：私にとっては音楽やアートと同じようなもの。人生に絶対必要とまでは言い切れないけれど、あると心が豊かになると考えています。役に立つとか云々よりも、結局は本のおもしろさが勝って、今でも純粋に本が大好き！

校長先生：他者との対話、自分との対話、過去との対話など、いろいろな対話をすることによって、新しい自分を発見することができます。自分がおもしろそうだなと思う本が一番ためになりますよ。

東先生：私は図書館に通って、内藤先生とおしゃべりを楽しみ、本の紹介コーナーを眺めながらゆっくり「どこでもドア」への案内本を選びます。背表紙の題名や字体、本の装幀にも興味津々目を配り、そして想像の翼をひろげてその本の世界を楽しみます。生徒のみなさん、本の良さは、自分で無限大に広がる想像力を育てることだと思いますよ。ご一緒しませんか。

内藤：知らないことを知ることは嬉しい(*^o^*)ことですし、作家や登場人物たちの気持ちや感情に気づくとき、人や物に優しくありたいと思えます。今の自分にぴったりの言葉や本と出会えたときの感激はひとしおです。何を读もうか迷った時は、図書館の中をふらーっとまわってみると、ぱっと目にとまる一冊に出会うことがありますよ。

こんな世界があるんだというワクワク感。こんな生き方があるんだという新鮮な感動。この先はどうなるんだろうというドキドキする好奇心。

ステキな本に巡り合えるように。1冊の本によって新たな発見ができるように。あなたの世界がひと回りもふた回りも広がるように。

見崎中図書館は応援します!!

参考資料：『想像から広がるもうひとつの世界 読書の旅にでかけよう』2021年5月1日発行